H.Yamanaka

# THE RADIO NIKKEI HAI KYOTO NISAI STAKES 第11回 ラジオNIKKEI杯 京都2歳ステークス(GⅢ)

| | 1着 | 2着 | 3着 | 4着 | 5着 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本賞 | 33,000,000円 | 13,000,000円 | 8,300,000円 | 5,000,000円 | 3,300,000円 |
| 付加賞 | 294,000円 | 84,000円 | 42,000円 | | |

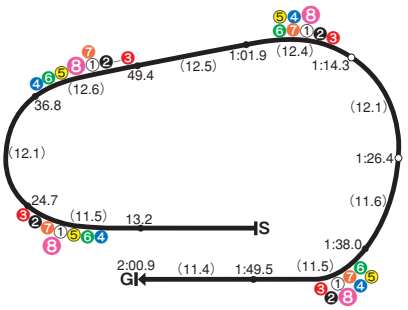
レース映像はコチラでご覧いただけます。

2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　馬齢重量

2024.11.23　京都　曇・良　芝2000ﾒｰﾄﾙ　(国際)(指定)

| 着順 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム(着差) | コーナー通過順位 | 上り(600ﾒｰﾄﾙ) | 馬体重(増減) | 単勝オッズ | 調教師 | ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ⑧ | エリキング | 牡2 | 56 | 川田将雅 | 2:00.9 | 4-5-3-3 | 34.2 | 498(±0) | 1.9① | 中内田充正(栗東) | 111 |
| 2 | ④ | ジョバンニ | 牡2 | 56 | 松山弘平 | 1¼ | 8-8-5-5 | 34.3 | 484(±0) | 6.5③ | 杉山晴紀(栗東) | 109 |
| 3 | ⑤ | クラウディアイ | 牡2 | 56 | 西村淳也 | 1 | 6-6-7-7 | 34.3 | 430(+14) | 8.7④ | 橋口慎介(栗東) | 107 |
| 4 | ③ | ウォータークラーク | 牡2 | 56 | 武　豊 | 1¼ | 1-1-1-1 | 35.0 | 482(+2) | 16.9⑤ | 石橋　守(栗東) | 105 |
| 5 | ⑦ | スリーキングス | 牡2 | 56 | 岩田康誠 | アタマ | 3-3-5-5 | 34.6 | 498(+4) | 19.9⑥ | 上村洋行(栗東) | |
| 6 | ① | テイクイットオール | 牡2 | 56 | 三浦皇成 | クビ | 4-3-3-3 | 34.8 | 444(+6) | 47.5⑦ | 中竹和也(栗東) | |
| 7 | ② | サラコスティ | 牡2 | 56 | C.デムーロ | 1 | 2-2-2-2 | 35.1 | 470(+8) | 2.9② | 池添　学(栗東) | |
| 8 | ⑥ | ローレルオーブ | 牡2 | 56 | 団野大成 | 1½ | 7-7-7-7 | 35.0 | 444(−2) | 158.6⑧ | 杉山佳明(栗東) | |

単勝⑧190円(1ﾍﾟ)　複勝⑧110円(1ﾍﾟ)　④150円(3ﾍﾟ)　⑤190円(4ﾍﾟ)　枠連：発売なし
馬連④-⑧570円(2ﾍﾟ)　ワイド④-⑧210円(2ﾍﾟ)　⑤-⑧320円(3ﾍﾟ)　④-⑤580円(9ﾍﾟ)
馬単⑧-④780円(3ﾍﾟ)　3連複④-⑤-⑧1,320円(5ﾍﾟ)　3連単⑧-④-⑤3,470円(10ﾍﾟ)




通過タイム：600ﾒｰﾄﾙ 36.8 - 800ﾒｰﾄﾙ 49.4 - 1000ﾒｰﾄﾙ 1:01.9　上り：800ﾒｰﾄﾙ 46.6 - 600ﾒｰﾄﾙ 34.5

## アラカルト

- 川田将雅騎手は京都2歳Ｓ初勝利。ＪＲＡ重賞は24年10勝目、通算140勝目
- 中内田充正調教師は京都2歳Ｓ初勝利。ＪＲＡ重賞は24年4勝目、通算41勝目
- キズナ産駒はＪＲＡ重賞通算37勝目

# エリキング *Eri King*

牡　鹿毛　2022.2.12生
北海道安平町　ノーザンファーム生産
馬主・藤田晋氏　栗東・中内田充正厩舎
馬名意味・人名より＋王

ヤングスターAUS系　F1-s

| | | |
|---|---|---|
| キズナ<br>青鹿毛　2010 | ディープインパクト<br>鹿毛　2002 | サンデーサイレンスUSA |
| | | ウインドインハーヘアIRE |
| | キャットクイルCAN<br>鹿毛　1990 | Storm Cat |
| | | Pacific Princess |
| ヤングスターAUS<br>Youngstar<br>鹿毛　2014 | High Chaparral<br>鹿毛　1999 | Sadler's Wells |
| | | Kasora |
| | Starspangled<br>鹿毛　2003 | Danehill |
| | | User Friendly |

5代までのインブリード：Northern Dancer M4×S5×M5
Shirley Heights M5×M5

## INTERVIEW

**野崎孝仁**厩舎長（ノーザンファーム早来）

### さらに大きなタイトルを期待しています

乗り慣らしから背中が物凄く良く、乗り役の時計を狂わすかのようなストライドの大きさもありました。心肺機能の高さも申し分なく、順調さを欠くことなく入厩させることができました。これまでの２戦とは違って３コーナーから川田騎手が手綱を動かしていましたが、それでも直線に入ってからの脚色は違っていました。25年はさらに大きなタイトルを期待しています。

**父キズナ**

北海道新冠町　株式会社ノースヒルズ生産　詳細はP.8参照

**母ヤングスター**AUS

豪26戦４勝（クイーンズランドオークス$^{G1}$、ドゥームベンロージズS$^{G2}$、ターンブルS$^{G1}$２着、クイーンズランドダービー$^{G1}$３着）、20年輸入

**エリキング** 本馬（22 牡父キズナ）中央３戦３勝（京都２歳S$^{GIII}$、野路菊S$^{OP}$）
　獲得総賞金56,620,000円
（23 流産）
（24 牝父コントレイル）

**祖母スタースパングルド** Starspangled

アイルランド産　愛１勝

バギーグリーン Baggy Green（08 牝父Galileo）豪１勝、**トファネ** Tofane（CFオールS・豪$^{G1}$、ストラドブロークH・豪$^{G1}$、タタソールズティアラ・豪$^{G1}$、オールエイジドS・豪$^{G1}$）、**ノーコンプロマイズ** No Compromise（メトロポリタンH・豪$^{G1}$、クイーンズC・豪$^{G3}$）、**ベノー** Benaud（カールトンワイオングゴールドC・豪L、オーストラリアンダービー・豪$^{G1}$２着）、**ブラッドマン** Bradman（ブラムコグラニット&マーブルフライングH・新L、ウインターC・新$^{G3}$３着）の母

ジャックストライクスバック Jack Strikes Back（10 騸父Encosta De Lago）豪７勝

**イレヴンセカンズ** Eleven Seconds（11 騸父Encosta De Lago）豪６勝（ゴールドバンベリーC・L３着）

**ヤングスターAUS**（14 前出）

ブリリアントマインド Brilliant Mind（15 騸父So You Think）豪11勝

**ファンスターAUS**（16 牝父Adelaide）豪５勝（フライトS$^{G1}$、ファーラップS$^{G2}$、ティーローズS$^{G2}$、エプソムH$^{G1}$２着、クイーンオブザターフS$^{G1}$２着、サラウンドS$^{G1}$２着、シーアマークスS$^{G2}$２着）、輸入繁殖牝馬

**曽祖母ユーザーフレンドリー** User Friendly

イギリス産　中央０勝、愛、北米、英、仏８勝（英セントレジャー$^{G1}$、英オークス$^{G1}$、愛オークス$^{G1}$、サンクルー大賞・仏$^{G1}$、ヨークシャーオークス・英$^{G1}$、オークストライアルS・英L、凱旋門賞・仏$^{G1}$２着、全欧年度代表馬）

スタースパングルド Starspangled（03 前出）

**トゥーマイルズウエスト** Two Miles West（01 騸父Sadler's Wells）愛、英１勝（クイーンズヴァーズ・英$^{G3}$２着）、障害７勝

**ダウンタウン** Downtown（04 牝父Danehill）愛２勝（ギヴサンクスS$^{G3}$）

## 非凡な決め手で無傷の3連勝を飾る

S.Okada

１戦１勝馬の活躍が目立った2024年のJRA２歳重賞だが、８頭立てで争われた京都２歳Sはキャリア２戦の２頭が「二強」の勢力図を形成。デビュー２連勝中のエリキングが単勝1.9倍と圧倒的な支持を集め、新馬戦で同馬の２着に敗れた後、続く未勝利戦を９馬身差で逃げ切ったサラコスティが強力な対抗候補（単勝2.9倍）と目された。２頭の明暗は大きく分かれ、７着に沈んだ後者に対し、前者は中身の濃い内容で快勝。クラシックの有力候補に名乗りをあげた。

押し出されるようにして主導権を握ったのは出足に優ったウォータークラーク。サラコスティは２番手に控え、ゆったりとした流れ、その割に縦長の隊列でレースは進む。エリキングの川田将雅騎手はじっくりと構え、先頭から７、８馬身離れた中団を追走。一角崩しの期待をかけられた野路菊Sの２着馬ジョバンニも最後方で脚を溜めつつ、進出のタイミングを窺った。

３コーナーの坂の上りに差し掛かるあたりから馬群は一転して凝縮。川田騎手は３番手に進出し、ジョバンニもその背後に迫って内回りコースの坂を駆け下りる。序盤に少し折り合いを欠いたのが響いたか、サラコスティは直線入口で早々に失速、これをかわしにかかったエリキングの反応も鈍く映ったが、川田騎手に気合をつけられ、ようやくエンジンがかかると実に鋭い末脚を発揮。逃げ粘るウォータークラークを一気にかわして先頭に立ち、外から追い込んだジョバンニを２着に従えてゴールに飛び込んだ。

父は２歳、総合の両部門でリーディングの首位を快走するキズナ、母ヤングスターも豪Gⅰの勝ち馬と十分な血統的背景を持つ本馬は、６月の新馬戦、９月の野路菊Sを好位抜け出しの戦法で連勝。差しに構えたこの日は加速に手間取る若さも覗かせたものの、終わってみれば非凡な決め手をアピールして無傷の３連勝を飾った。２歳GⅠへの参戦は見送り、今後はひと息入れて春に備える予定。大きな伸びしろを感じさせる素質馬の再始動が楽しみだ。